

press release

第15回 日中韓居住問題国際会議東京大会

にて研究発表実施報告のお知らせ

去る、10月19日から21日、東京池袋のホテルメトロポリタンを中心に国際会議が開催され、無事に終了したことをご報告致します。

今回は、「住居と健康」をテーマに日本、中国、韓国の代表者による各国の取組みを発表し、意見交換を行いました。主な参加者は、各国の居住、福祉、健康・医療機関の関係者や専門家及び行政機関、日本医師会も共催されました。

日本の代表者には日本医師会副会長の今村聡氏、日本居住福祉学会副会長で日本福祉大学大学院特別任用教授野口定久氏、そして、日菱企画株式会社／住宅産業塾塾長の長井克之が日本の代表の1人として登壇し、下記のテーマを発表させていただくことが出来ました。

21日に開催されたシンポジウムは、

- ① 健康な住宅環境の構築
- ② 高層住宅の居住者に対する生理的・心理的影響
- ③ 大災害時の居住問題

をテーマに上記の先生方を含め各国の代表者が発表を行いました。

弊社、住宅産業塾 長井克之塾長は、本壇上にて

②のテーマに対し

**「住宅再考論 健康と住環境の関係—
今の住宅では健康になれない!？」**

を発表させていただきました。

また、追加公演では

**「家づくりで本当に大切なことを伝えたい」
いい家を建てるために、悲惨な事件を起こさないために、
健康長寿であるために、**

を講演させていただきました。

最後に、本大会に参加し、日本、中国、韓国と居住に関する取組みがアジア共通の課題であることが認識できました。今後も「家づくり」の専門家として、社会貢献できるようご協力させていただきます。



本件に関するお問合せ先

日菱企画株式会社／住宅産業塾

東京都港区虎ノ門2-5-4 末広ビル 4F 事務局 TEL:03-3503-2867 FAX:03-3503-2869

Male: hbsg@jyutakujuku.co.jp HP <https://www.jyutakujuku.com/>

 facebook.com/@jyutakujuku